

# 南高図書館だより

2024年5月号  
浦和南高校図書館

## 図書委員のおすすめ本



### 『余命10年』

小坂流加／著 文芸社(文芸社文庫NEO)

『余命10年』は、命の尊さと限られた時間の中で煌めく喜びを描いた感動的な小説です。この小説では、彼女の余命宣告された日々の中で起こる様々な出来事や出会い、喪失と再生のプロセスが描かれます。彼女は苦境に立ち向かい、思いもよらない形で力強さや希望を見つけることとなります。ぜひ一度読んでみてください。

### 『掬えば手には』

瀬尾まいこ／著 講談社

人の心が読める能力を持っている大学生の木梨匠と木梨のバイト先で出会った常盤さん、店長の大竹さんの3人が織りなす心温まる物語です。どんな人の心でも読める木梨匠は唯一常盤さんの心だけが全く読めず、なぜか子どものような声が毎回聞こえてきた。しかしそれには常盤さんに隠された辛い過去が理由となっていた。全てが伏線のような不思議な感覚にそして前向きになれる素敵な物語です。ぜひ読んでみてください。



### 『魔法使いハウルと火の悪魔』

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ／作 西村醇子／訳 徳間書店

あの有名なスタジオジブリの映画「ハウルの動く城」の原作の小説です。ソフィー・ハッターは、荒地の魔女の呪いで90歳のおばあちゃんになってしまいます。そして家族を驚かせまいとして家出し、空中の城のハウルのところに行きます。このように、映画では地面を歩く城が描かれますが、原作の城は空を飛びます。映画と原作の違いを探るのも面白いかもしれませんので、ぜひ読んでみてください。

## 図書館からのお知らせ

◆南高図書館案内◆

### 学校生活に役立つ本、あります！

入試対策  
(小論文・面接)

仕事・職業

大学(学部)案内  
勉強法、留学



小論文・面接  
コーナー

例  
『朝日キーワード』  
2022～2025 まで所蔵

仕事の本(分類 366)

例  
『なるにはBOOKS  
●●になるには』シリーズ

進路コーナー

例  
『なるにはBOOKS  
大学学部調べ』シリーズ



南高図書館の「コ」にあるよ！





知識の本

恋愛ってなんだろう？

大森美佐／著 平凡社

恋をして、恋愛した相手と結婚するのが「ふつう」？そもそも恋愛にはルールがあるのか？昔の恋愛はもっと自由だった？他の国ではどんなふうに恋愛してる？……「恋愛」について考えることは、時代や文化、社会構造やジェンダー構造などといった広い世界を考えるためのきっかけになる。大学で「恋愛」について研究している社会学者が、さまざまな「恋愛」について書いた本。

選挙、誰に入れる？ ちょっとでも良い未来を「選ぶ」ために知っておきたいこと

宇野重規／監修 Gakken

選挙に行くのは、政治を自分たちの手でちょっとでも良くつくり変えていくため。大切なのは現状を知ること。本書では、「暮らし」「働き方と経済」「多様性と人権」「環境問題」「政治のしくみ」から政治的課題を取り上げ、課題ごとに問題を考えるためのデータページを設け、政治的論点まで図解する。読めば、多くの課題に直面しているけれど、全て解決不能なものではないとわかる。

ぼくたちには「体育」がこう見える 「体育」は学びの宝庫である

為末大／編著 伊藤亜紗／〔ほか述〕大修館書店

身体扱いを学ぶ「体育」。身体を持っていない人はいないのだから、すべての人が当事者であり、全ての土台が「体育」では？「スポーツ」と比べて窮屈と言われる「体育」を捉え直し、新しい可能性を見出すため、オリンピックの著者が体育・スポーツ関係者以外の十一人と対話する。

「好き！」の先にある未来 わたしたちの理系進路選択

加藤美砂子／編著 岩波書店

女子中学生・高校生に向けて、理系に進んだ11人の先輩が、自分の体験をもとに進路や仕事について語ります。進路に悩む人、理系科目が好きな人へ送る、理想論ではない、実際の体験談。

かたちには理由がある

秋田道夫／著 早川書房

クライアントの要望やコスト等、様々な条件を考慮して製品を作るプロダクトデザインという仕事をしている工業デザイナーが書いた、ものの「かたち」の謎解き。デザインの「素敵な妥協」と、大量に使われる製品が「研ぎ澄まされたふつう」である理由を、自ら手掛けた製品を例に語る。

くらべて、けみして 校閲部の九重さん

こいしゆうか／著 新潮社

「百年後に残す一冊を作っていくという意志」のもと、校閲に力を入れている「新頂社」。校閲部のない出版社も多いなか、ここには校閲だけで50人もいる。九重(くじゅう)さんもその一員。

現場ならではの逸話を盛り込みつつ、校閲者の日常を描くお仕事コミック。

アイドル・スタディーズ 研究のための視点、問い、方法

田島悠来／編 明石書店

「アイドル」を定義し、これまでの研究や議論について提示し、現在の課題や未来の可能性について考える、「アイドル研究」の初心者向けの手引書。「アイドル」というフィルターを通して、「アイドル」を生み出す社会を見つめ、そのパフォーマンスから労働やジェンダーに目を向けていく。

小説・文学

怖いモダチ

岡部えつ／著 KADOKAWA

人気エッセイストの中井ルミンのオンライン・サロンへの参加を知り合いから誘われた「私」は、主宰者の彼女について知るために、関係者からの聞き取りを始めた。しかし、彼女を「素晴らしい人」と言う人と、「悪魔」だと言う人がいる。16人の食い違う証言から浮かび上がる彼女の正体は、女神か悪魔か。

成瀬は信じた道をいく

宮島未奈／著 新潮社

2024年本屋大賞ほか、14冠受賞した『成瀬は天下を取りに行く』の続編。200歳まで生きることが目標の成瀬あかりは、やりたいことに一直線。今作では、ヒッチハイクで京大受験する高校生や、観光大使となるべく育てられた大学生、近所のクレーマー主婦らと、成瀬の人生が交差する。ある日、引越した幼馴染の島崎が故郷へ帰ると、成瀬が書置きを残して消えていた！

うまいダッツ

坂本司／著 文藝春秋

「うまい棒一本で、世界の秘密がわかるらしい」とある高校内で流れる不思議な噂。放課後に好みのおやつを持ち寄って食べるだけ、「おやつ部」の四人が真相に挑む。表題作「うまいダッツ」のほか、ゆる部活のメンバーが経験する、時に甘く時にしょっぱい、全部で五つの物語。出てくるお菓子が近所のスーパーやコンビニで入手できるものばかり。食べたくなること請け合いです。

令和6(2024)年度 埼玉県高等学校読書感想文コンクール

課題図書<sup>1</sup>の3冊が発表されました。

『宙(そら)わたる教室』伊与原新／著 文藝春秋

『優等生サバイバル:青春を生き抜く13の法則』ファン・ヨンミ／作 キム・イネ／訳 評論社

『私の職場はサバンナです！』太田ゆか／著 河出書房新社

- ◇ 自由に選んだ図書でも書くことができます。
- ◇ 学校ごとに取りまとめて県コンクールへ出品し、**県コンクールの優秀作品2点**になると、**全国コンクール**へ出品されます。
- ◇ 詳しい応募要項は、わかり次第クラッシィ等でお知らせします。
- ◇ 興味のある人は、**次のサイトもチェック**してみてくださいね。

第70回青少年読書感想文全国コンクール公式サイト  
<https://www.dokusyokansoubun.jp/index.html>



課題図書の紹介動画が見られます